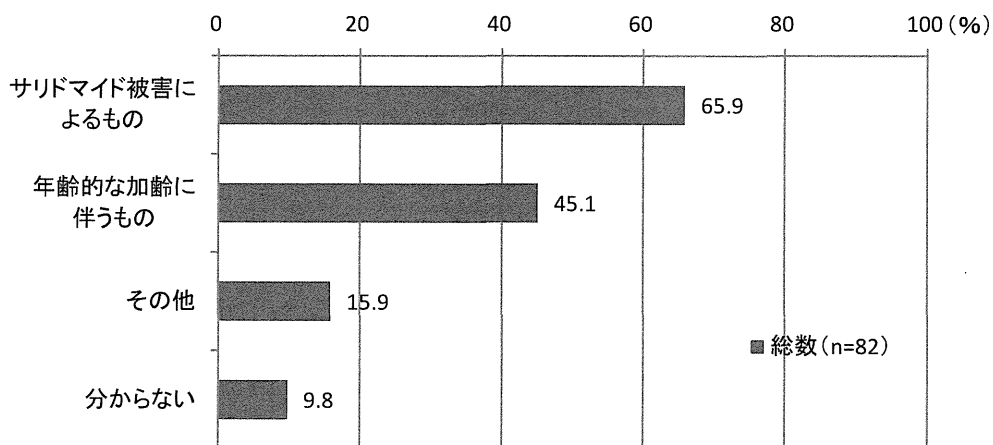


④日常生活への影響の原因

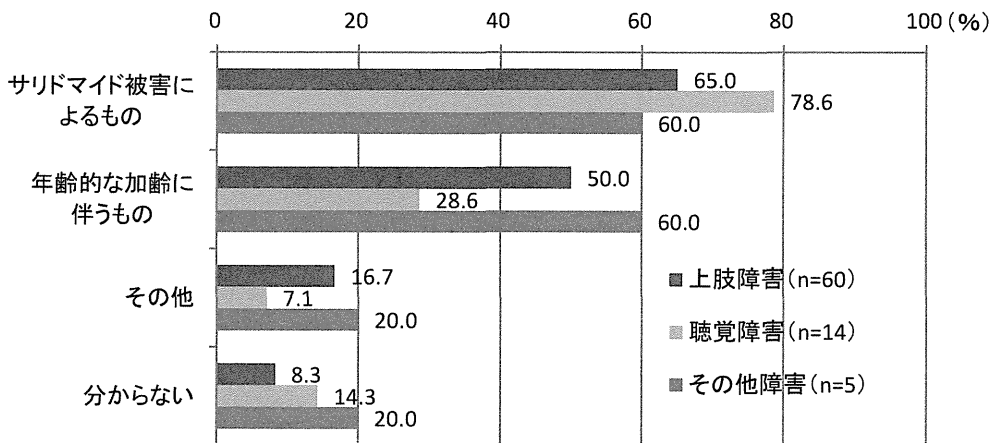
(4) 上記のような日常生活上の影響の原因は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 日常生活への影響の原因について、全体で見ると、「サリドマイド被害によるもの」が 65.9%と最も多く、次いで「年齢的な加齢に伴うもの」が 45.1%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「サリドマイド被害によるもの」が 65.0%と最も多く、次いで「年齢的な加齢に伴うもの」が 50.0%である。聴覚障害は「サリドマイド被害によるもの」が 78.6%と最も多く、次いで「年齢的な加齢に伴うもの」は 28.6%であり、全体と比べて「サリドマイド被害によるもの」の割合が多くなっている。
- 性別で見ると、男性は「サリドマイド被害によるもの」が 59.0%と最も多く、次いで「年齢的な加齢に伴うもの」が 33.3%である。女性も「サリドマイド被害によるもの」が 73.2%と最も多く、次いで「年齢的な加齢に伴うもの」が 56.1%であるが、いずれも男性より高い割合になっている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「サリドマイド被害によるもの」と「年齢的な加齢に伴うもの」がそれぞれ 46.2%である。親とのみ同居世帯では「サリドマイド被害によるもの」が 65.0%と最も多く、次いで「年齢的な加齢に伴うもの」が 35.0%である。その他世帯は、「サリドマイド被害によるもの」が 70.2%と最も多く、次いで「年齢的な加齢に伴うもの」が 51.1%であり、いずれも他の世帯類型より多い。

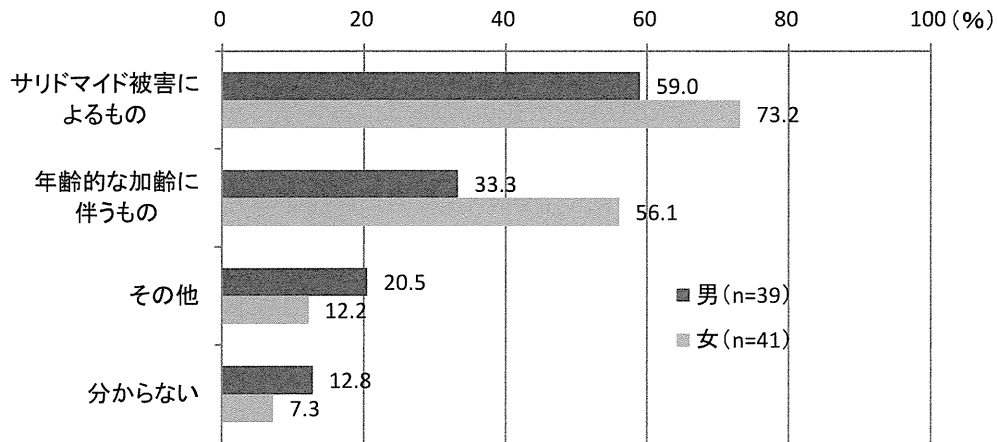
図表 37 日常生活への影響の原因；全体（複数回答）



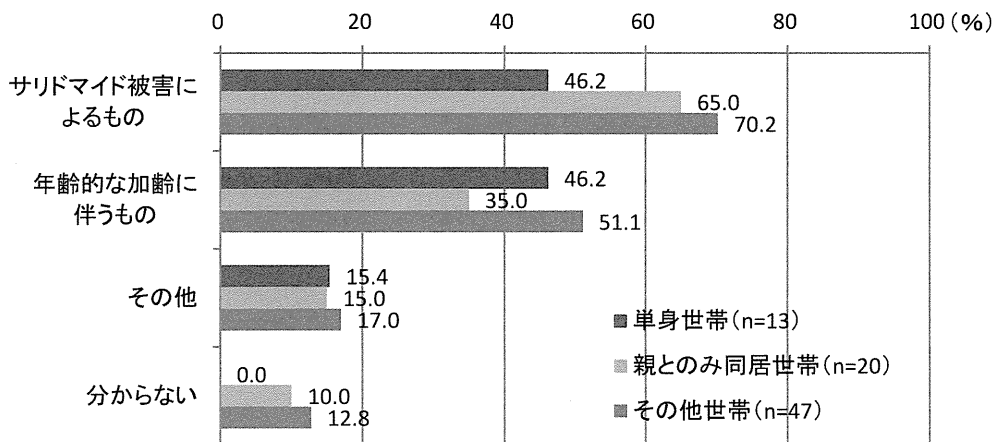
図表 38 日常生活への影響の原因；障害種別（複数回答）



図表 39 日常生活への影響の原因；性別（複数回答）



図表 40 日常生活への影響の原因；世帯類型別（複数回答）



図表 41 日常生活への影響の原因；3. その他

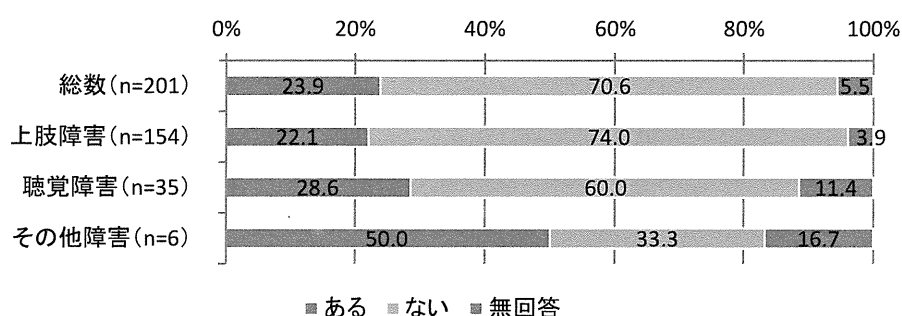
・聴力の低下
・事務仕事で1日中座っていることで股関節に影響が出たと思う
・パワハラ
・糖尿病・腎臓・網膜症等
・介護の仕事をしていたので無理がかかったのでは
・介護する母の高齢化
・仕事上のストレス
・体かん機能障害
・子宮ガン手術の後遺症
・生活習慣等
・集音機の使用による。補聴器ではない。補聴器では自分の耳の穴にフィットするものが無かった。特に特殊なイヤホンではなく、一般的なものがない。

(3) 健康上の問題による過去1ヶ月間の普段の活動への影響

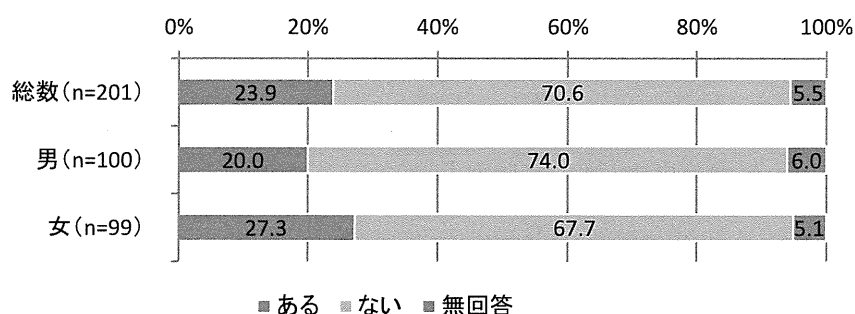
問3 過去1ヶ月の間に、健康上の問題で床についたり普段の活動ができなかった（仕事・学校を休んだ、家事ができなかった等）日はありましたか。

- 過去1ヶ月間に、健康上の問題で床についたり普段の活動ができなかった日があったかについて、全体で見ると、23.9%が「ある」と答えている。
- 障害種別で見ると、上肢障害は22.1%、聴覚障害は28.6%が「ある」と答えている。
- 性別で見ると、男性は20%、女性は27.3%が「ある」と答えており、男性に比べて女性の方がやや多くなっている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は23.3%、親とのみ同居世帯は31.1%、その他世帯では20.2%が「ある」と答えている。親とのみ同居世帯が他の世帯類型に比べてやや多くなっている。

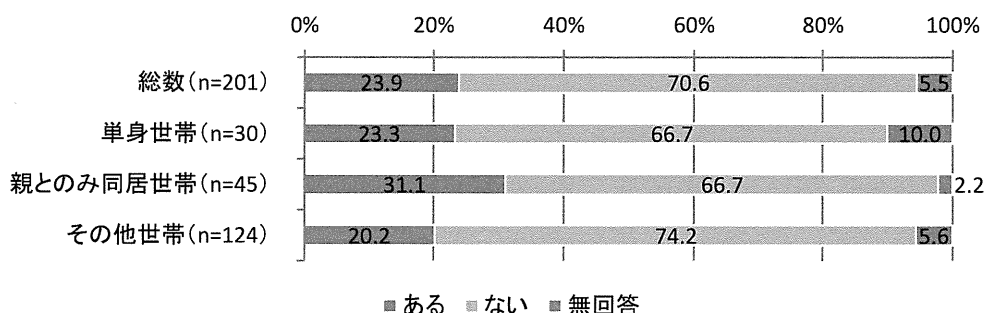
図表 42 健康上の問題による過去1ヶ月間の普段の活動への影響有無；障害種別



図表 43 健康上の問題による過去1ヶ月間の普段の活動への影響有無；性別



図表 44 健康上の問題による過去1ヶ月間の普段の活動への影響有無；世帯類型別



① 普段の活動への影響のあった日数

1. ある → 合計 () 日

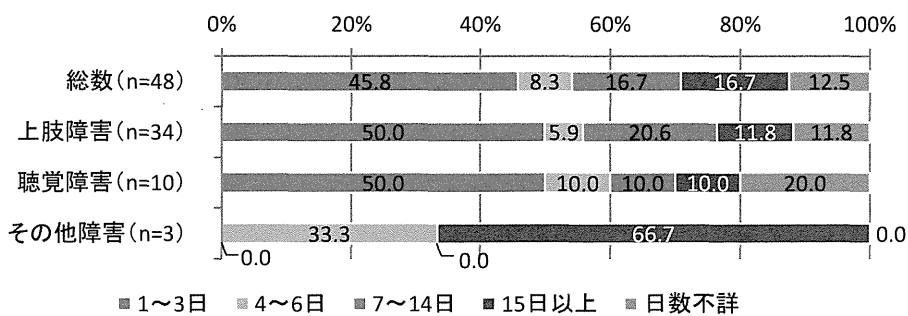
○ 過去1ヶ月間に、健康上の問題で床についたり普段の活動ができなかった日数について、全体で見ると、「1～3日」が45.8%と最も多く、次いで「7～14日」と「15日以上」がそれぞれ16.7%である。

○ 障害別で見ると、上肢障害は「1～3日」が50.0%と最も多く、次いで「7～14日」が20.6%である。聴覚障害も「1～3日」が50.0%と最も多い。

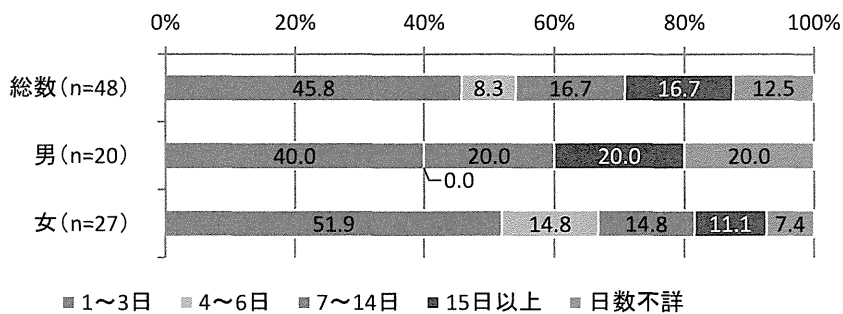
○ 性別で見ると、男性は「1～3日」が40.0%と最も多い。女性も「1～3日」が51.9%と最も多いが、男性よりも割合が多くなっている。

○ 世帯類型別で見ると、単身世帯は「1～3日」が71.4%と特出して多い。親とのみ同居世帯は「1～3日」と「1日以上」がそれぞれ28.6%、次いで「7～14日」が21.4%で、他世帯類型と比べて「1～3日」が少なく、「15日以上」が多くなっている。その他世帯は、「1～3日」が48.0%、次いで「7～14日」が20.0%である。

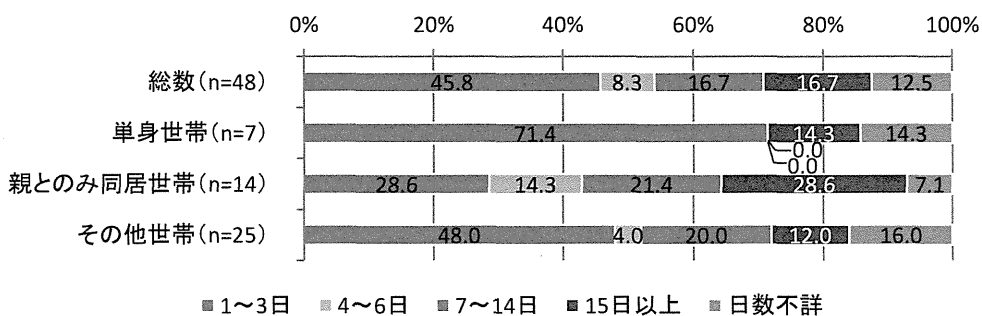
図表 45 普段の活動への影響のあった日数；障害種別



図表 46 普段の活動への影響のあった日数；性別



図表 47 普段の活動への影響のあった日数；世帯類型別



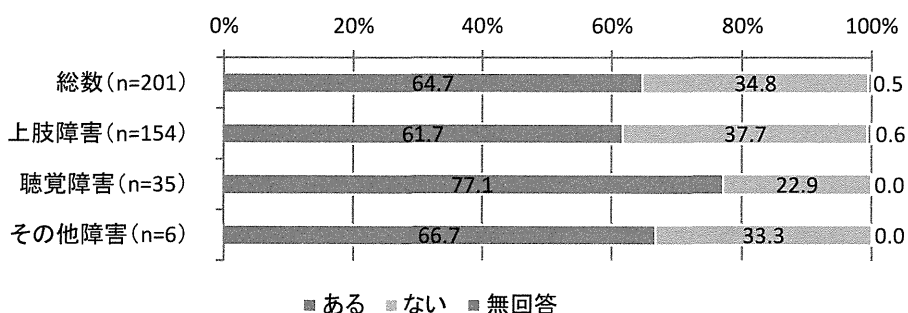
3. 医療・保健サービスの利用状況

(1) 病気やけがなどの自覚症状

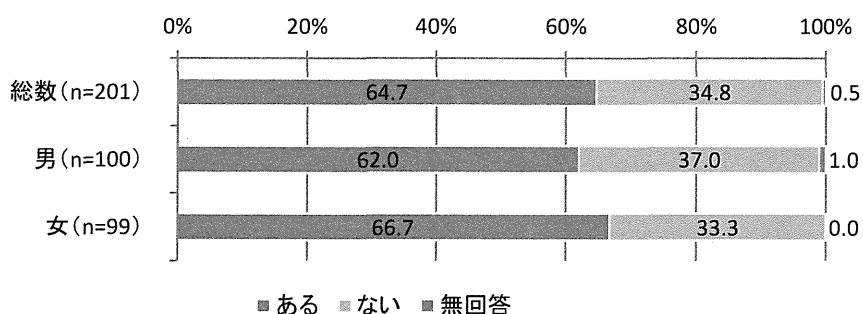
問1 あなたはここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

- ここ数日自覚症状があるかについて、全体で見ると、64.7%が「ある」と答えている。
- 障害種別で見ると、上肢障害は61.7%、聴覚障害は77.1%が「ある」と答えており、聴覚障害が他の障害よりもやや多くなっている。
- 性別で見ると、男性は62.0%、女性は66.7%が「ある」と答えており、女性の方が男性よりもやや多くなっている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は66.7%、親とのみ同居世帯は57.8%、その他世帯は66.1%が「ある」と答えており、親とのみ同居世帯が他の世帯類型よりもやや少なくなっている。

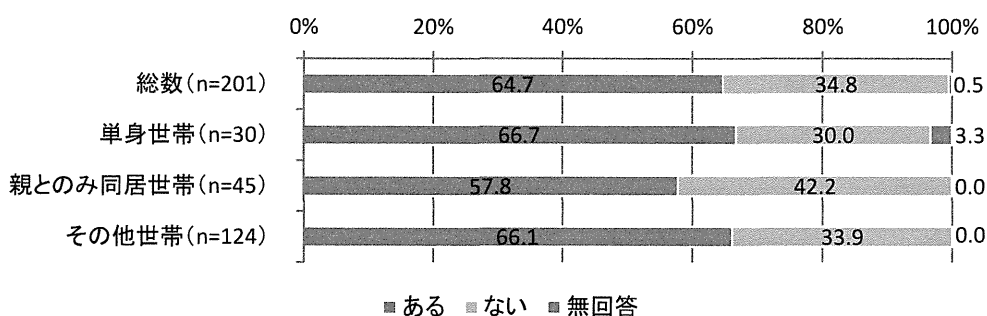
図表 48 自覚症状の有無；障害種別



図表 49 自覚症状の有無；性別



図表 50 自覚症状の有無；世帯類型別



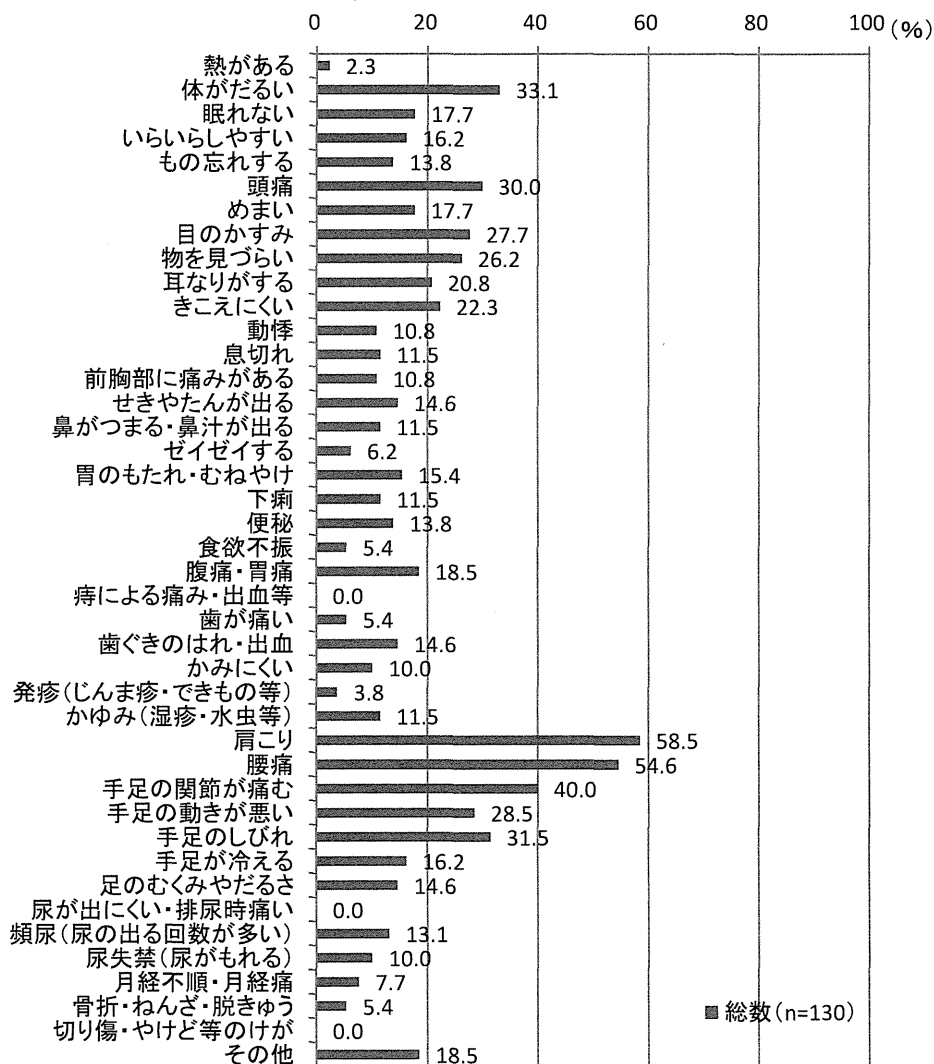
①自覚症状の具体的な症状

【「1ある」と答えた方にうかがいます。】

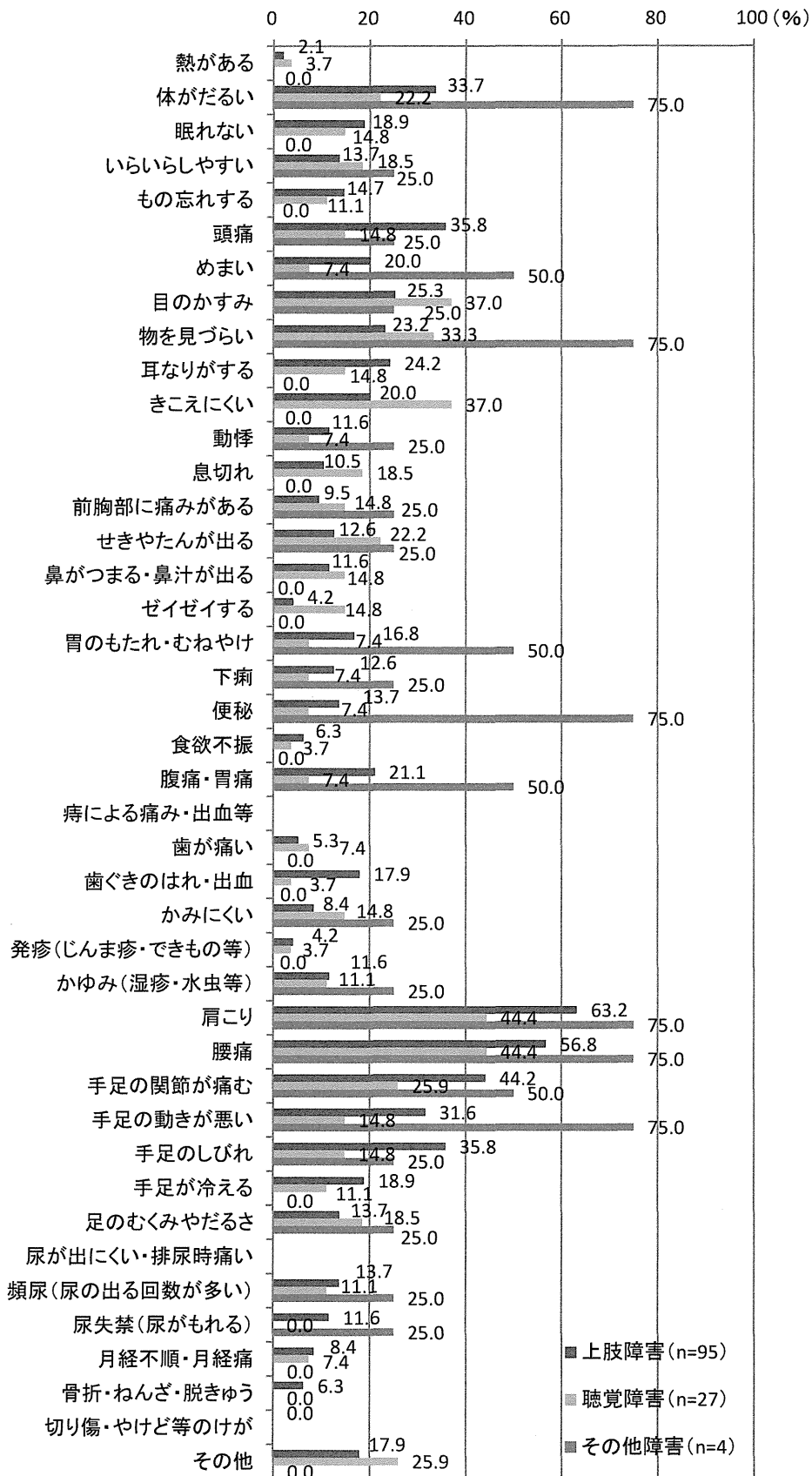
(1) それは、どのような症状ですか (〇はいくつでも)。

- 具体的にどのような症状があるかについて、全体で見ると、「肩こり」が 58.5%と最も多く、次いで「腰痛」が 54.6%、「手足の関節が痛む」が 40.0%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「肩こり」が 63.2%と最も多く、次いで「腰痛」が 56.8%、「手足の関節が痛む」が 44.2%で、それぞれ全体よりも割合がやや高くなっている。聴覚障害は「肩こり」と「腰痛」がそれぞれ 44.4%と最も多く、次いで「きこえにくい」と「目のかすみ」がそれぞれ 37.0%である。
- 性別で見ると、男性は「腰痛」が 58.1%、次いで「肩こり」が 51.6%、「体がだるい」が 32.3%である。女性は「肩こり」が 66.7%、「腰痛」が 53.0%、「手足の関節が痛む」が 48.5%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「肩こり」が 50.0%と最も多く、次いで「腰痛」と「手足の関節が痛む」がそれぞれ 40.0%である。親とのみ同居世帯は「肩こり」と「腰痛」がそれぞれ 50.0%と最も多く、次いで「目のかすみ」が 38.5%である。その他世帯は、「肩こり」が 63.4%と最も多く、次いで「腰痛」が 59.8%、「手足の関節が痛む」が 42.7%である。

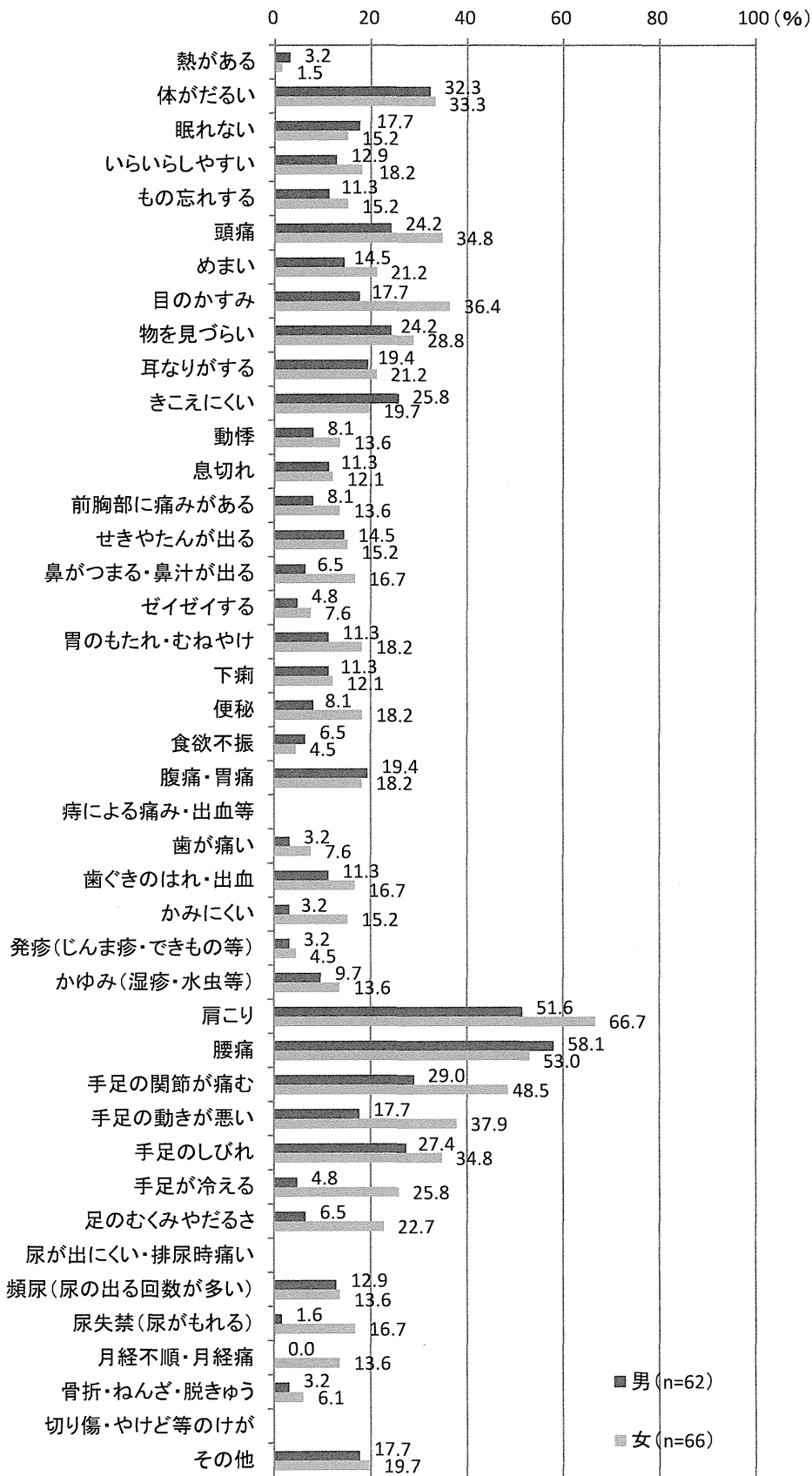
図表 51 自覚症状の具体的な症状；全体（複数回答）



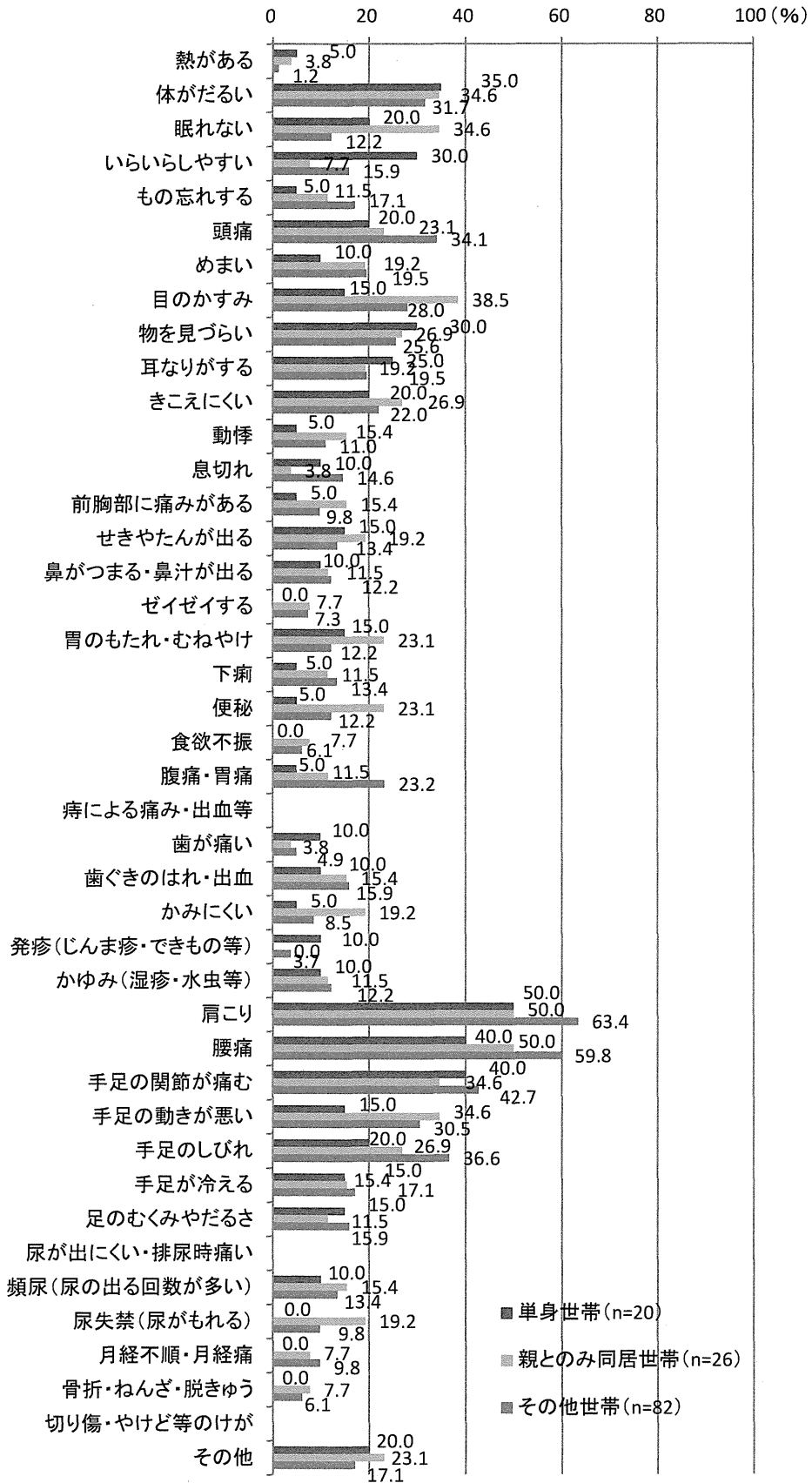
図表 52 自覚症状の具体的な症状；障害種別（複数回答）



図表 53 自覚症状の具体的な症状；性別（複数回答）



図表 54 自覚症状の具体的な症状；世帯類型別（複数回答）



図表 55 自覚症状の具体的な症状；42. その他→具体的に

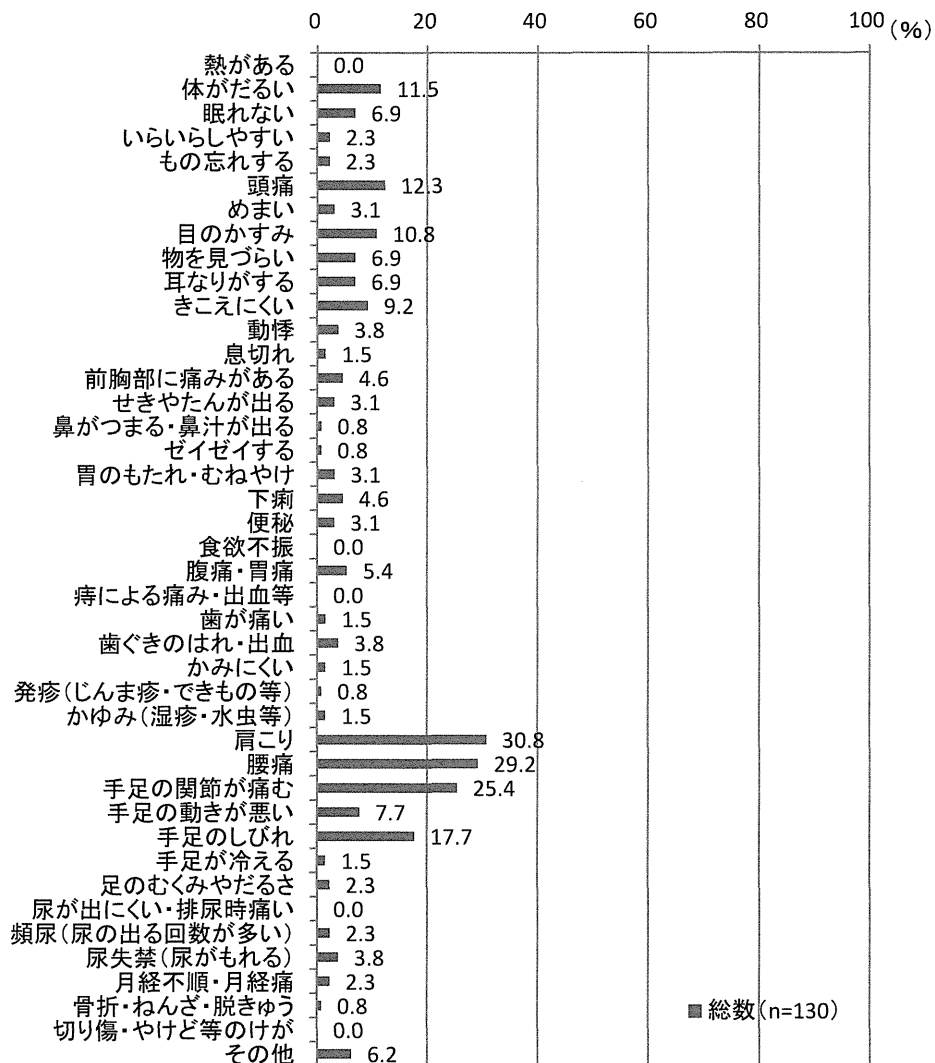
・坐骨神経痛
・時々微熱が続く時があります
・右肩・上部腕の痛み
・握力は3歳まで
・体温は36.5度
・血圧が高い
・首がこる
・握力もだんだんなくなってきている
・毎日36.2~36.5の間
・背筋痛
・胃が弱っているピロリ菌が少しある
・3日前にヘルニアで手術入院した
・首がだるい
・ワレンベルグ症候群による嚥下障害
・左足全体のしびれ等
・体温調節が出来にくい
・握力が0になった。首痛が強くなり（目・耳・肩等）目が見えづらくなった（左）
・頭が重い、ふらつき
・打撲の後遺症
・耳の中の悪臭がひどい。耳掃除した後に特に匂う。一生治らないみたい。
・筋力低下による握力の低下、痛み、低温。可動域も狭くなった。
・左腕を折る
・右頬に軽い痙攣
・左手握力が弱くなってきてるような気がする

②本人が最も気になる症状

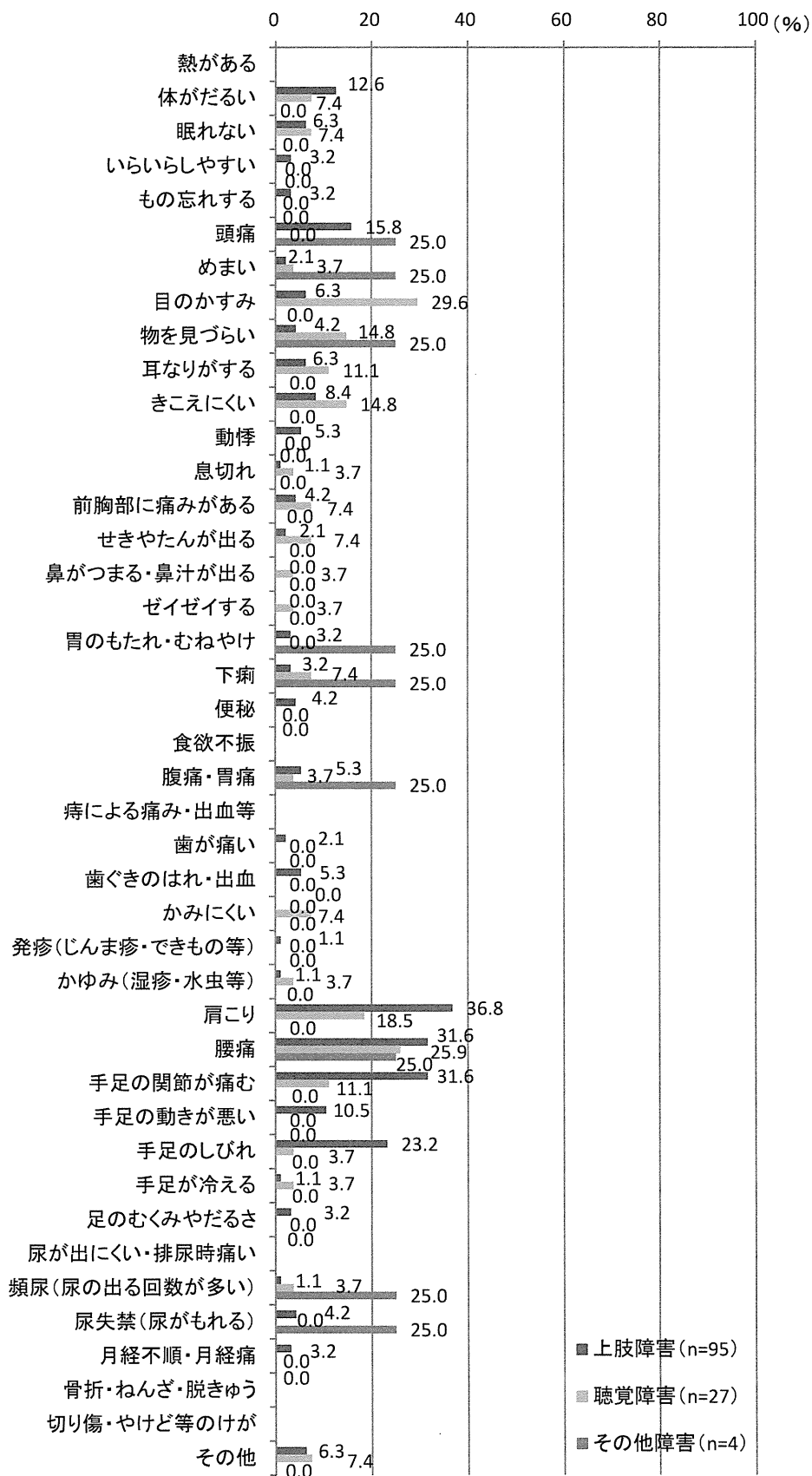
(2) 上記の中で最も気になる症状の番号を 3つまで選んで記入 してください。

- 自覚症状の中で最も気になる症状について、全体で見ると、「肩こり」が 30.8%と最も多く、次いで「腰痛」が 29.2%、「手足の関節が痛む」が 25.4%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「肩こり」が 36.8%と最も多く、次いで「腰痛」と「手足の関節が痛む」がそれぞれ 31.6%で、それぞれ全体よりも割合がやや高くなっている。聴覚障害は「目のかすみ」が 29.6%と最も多く、次いで「腰痛」が 25.9%、「肩こり」が 18.5%である。
- 性別で見ると、男性は「腰痛」が 35.5%と最も多く、次いで「肩こり」が 32.3%、「手足の関節が痛む」が 16.1%である。女性は「手足の関節が痛む」が 33.3%と最も多く、次いで肩こりが 30.3%、腰痛が 24.2%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「肩こり」が 30.0%と最も多く、次いで「腰痛」が 25.0%、「手足の関節が痛む」「体がだるい」「耳鳴りがする」がそれぞれ 20.0%である。親とのみ同居世帯は「肩こり」が 34.6%で最も多く、次いで「腰痛」が 26.9%、「眠れない」が 23.1%である。その他世帯は、「肩こり」が 31.7%と最も多く、次いで「腰痛」が 30.5%、「手足の関節が痛む」が 29.3%である。

図表 56 本人が最も気になる症状；全体（複数回答）

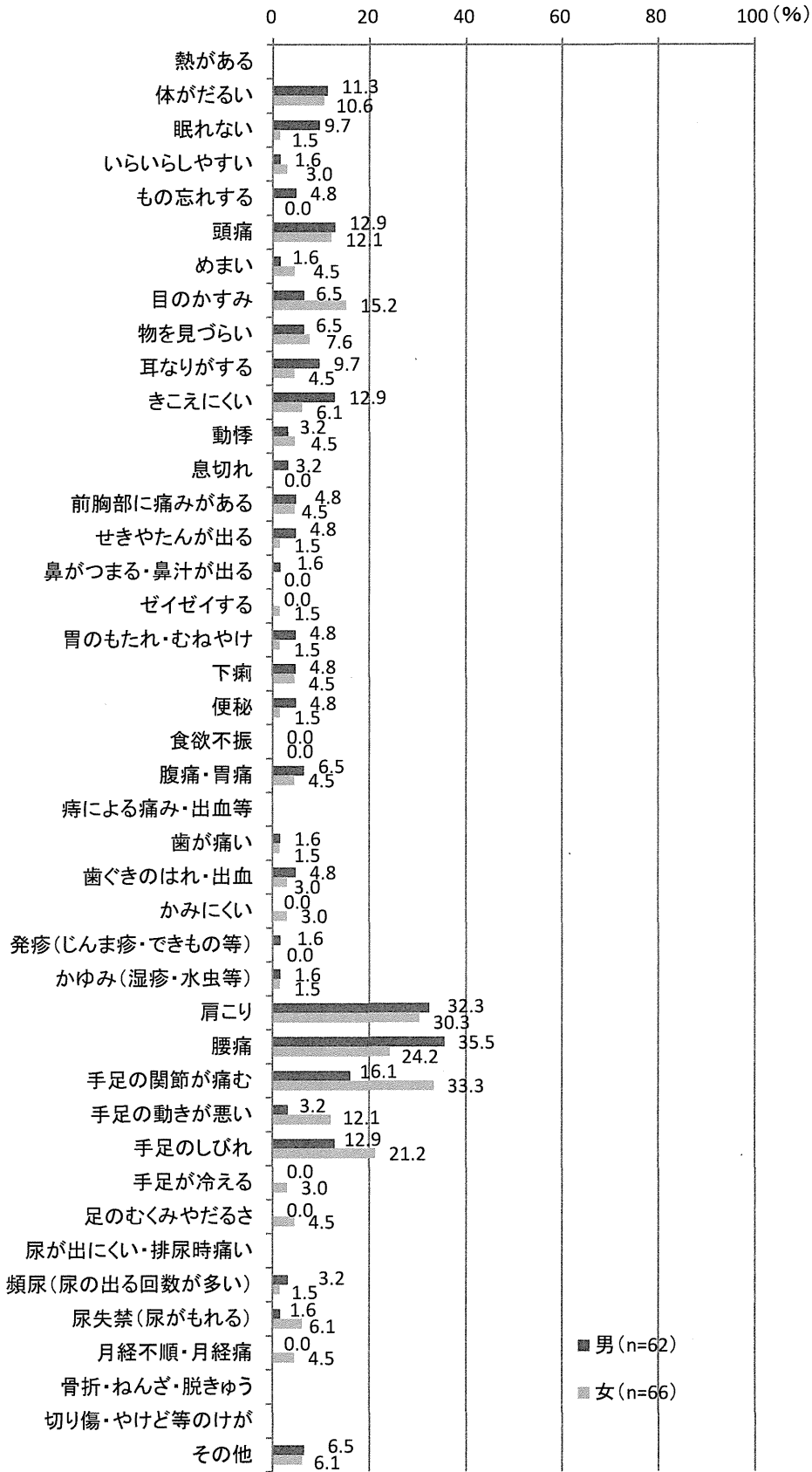


図表 57 本人が最も気になる症状；障害種別（複数回答）

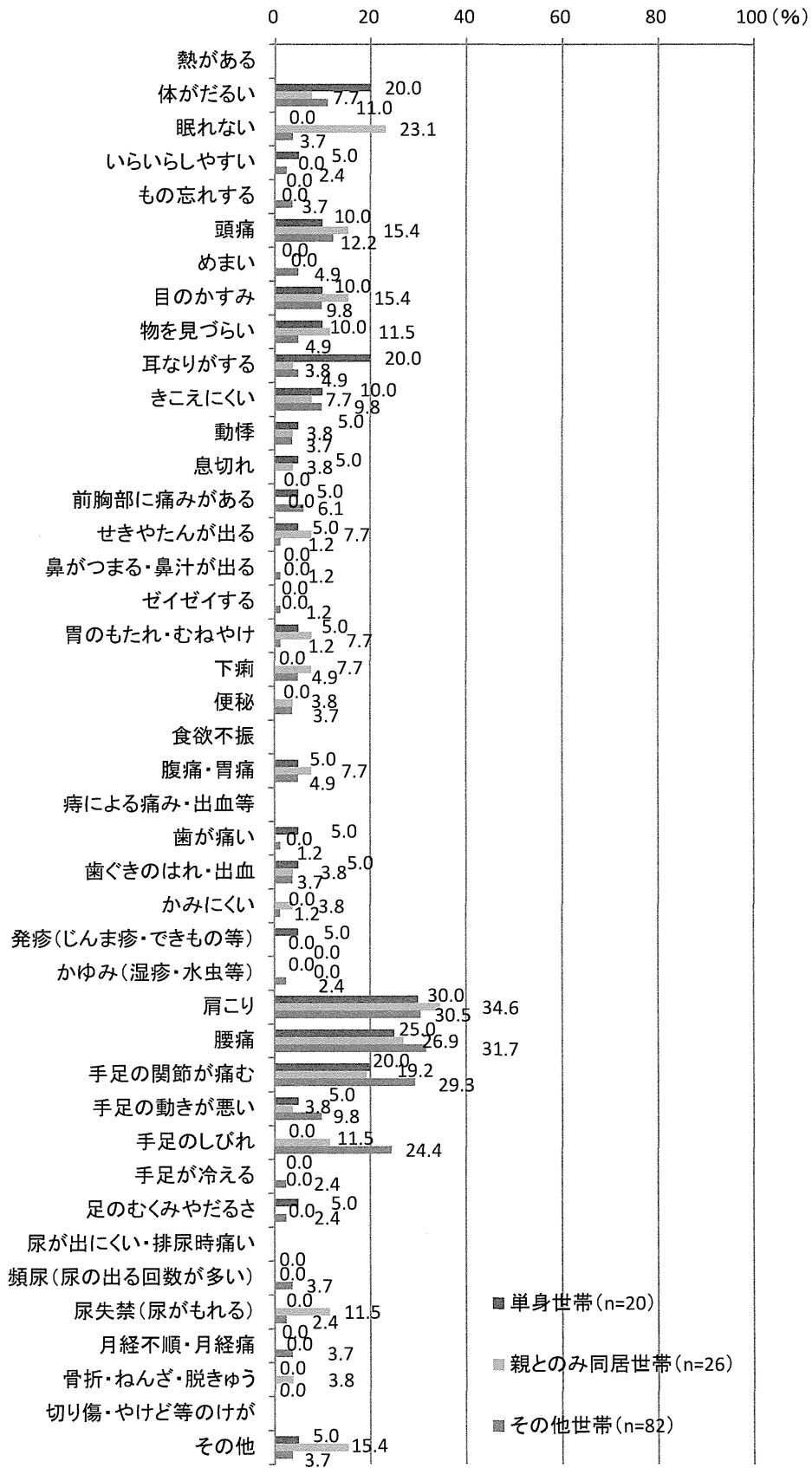


P<0.01**

図表 58 本人が最も気になる症状；性別（複数回答）



図表 59 本人が最も気になる症状；世帯類型別（複数回答）

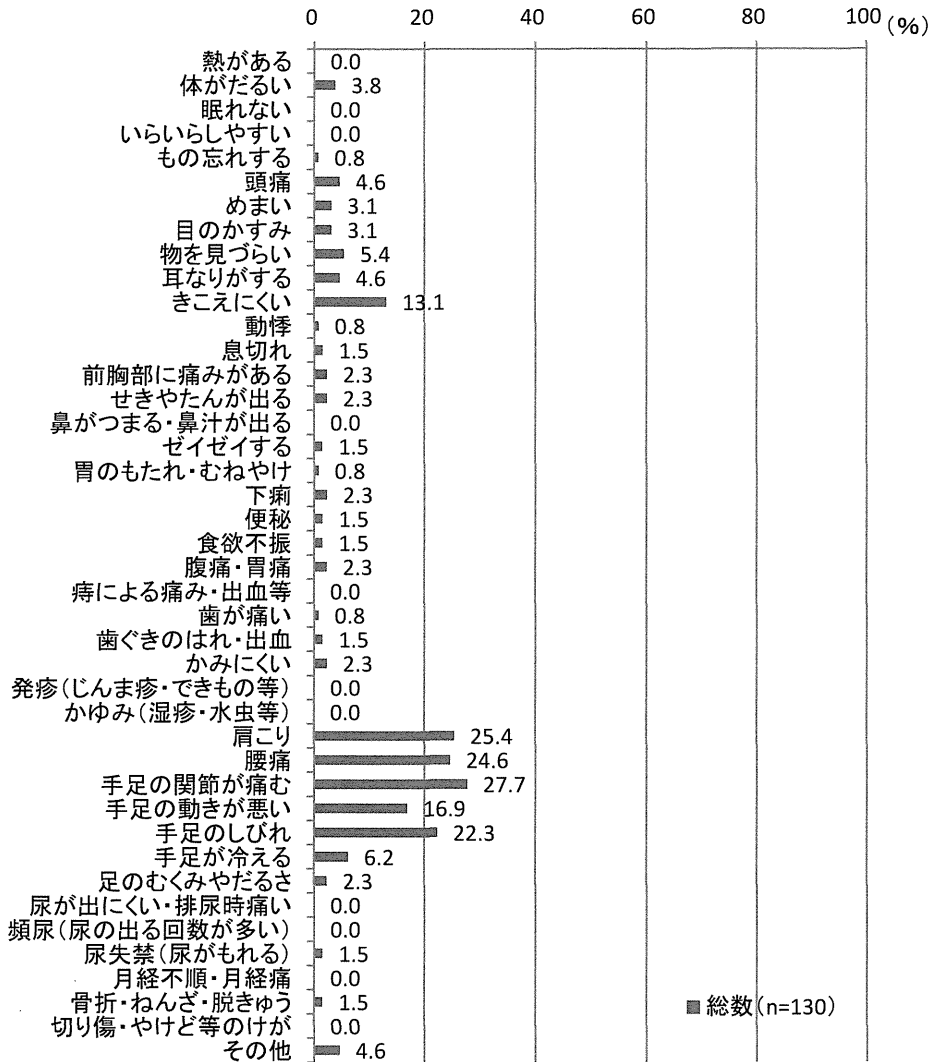


③本人がサリドマイド被害との関係を心配している症状

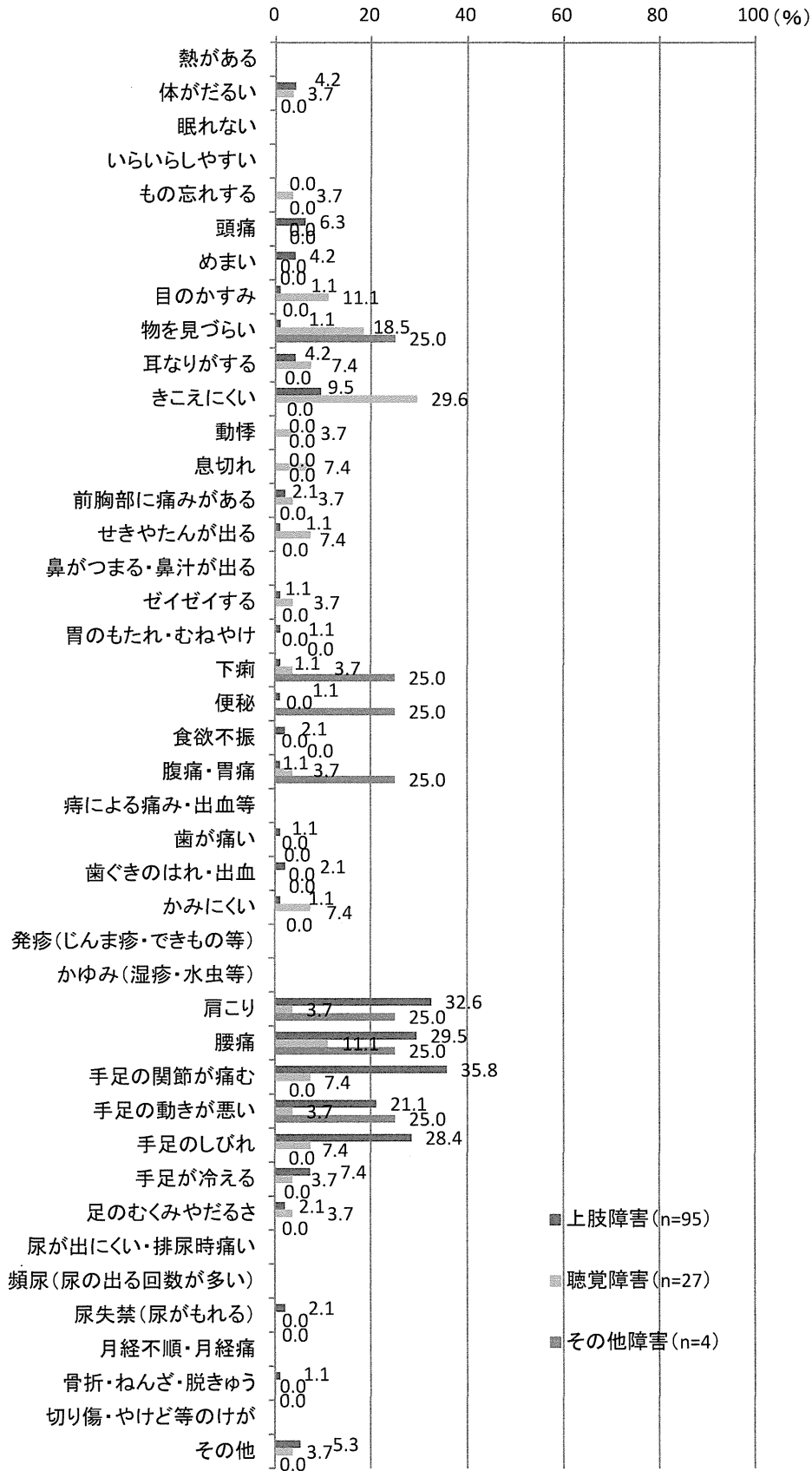
(3) 上記の中であなたがサリドマイド被害との関係を心配している症状の番号を記入してください。(番号はいくつでも)

- 自覚症状の中で、サリドマイド被害との関係を心配している症状について、全体で見ると、「手足の関節が痛む」が27.7%と最も多く、次いで「肩こり」が25.4%、「腰痛」が24.6%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「手足の関節が痛む」が35.8%と最も多く、次いで「肩こり」が32.6%、「腰痛」が29.5%である。聴覚障害は「きこえにくい」が29.6%最も多く、次いで「物を見づらい」が18.5%である。
- 性別で見ると、男性は「肩こり」が27.4%、次いで「腰痛」が25.8%である。女性は「手足の関節が痛む」が36.4%、次いで「手足のしびれ」が25.8%、「肩こり」と「腰痛」が24.2%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「肩こり」「腰痛」「きこえにくい」がそれぞれ20.0%で最も多い。親とのみ同居世帯は「肩こり」と「手足の関節が痛む」がそれぞれ26.9%で最も多い。その他世帯は「手足の関節が痛む」が31.7%と最も多く、次いで「手足のしびれ」が29.3%、「肩こり」と「腰痛」がそれぞれ26.8%である。

図表 60 本人がサリドマイド被害との関係を心配している症状；全体（複数回答）



図表 61 本人がサリドマイド被害との関係を心配している症状；障害種別（複数回答）

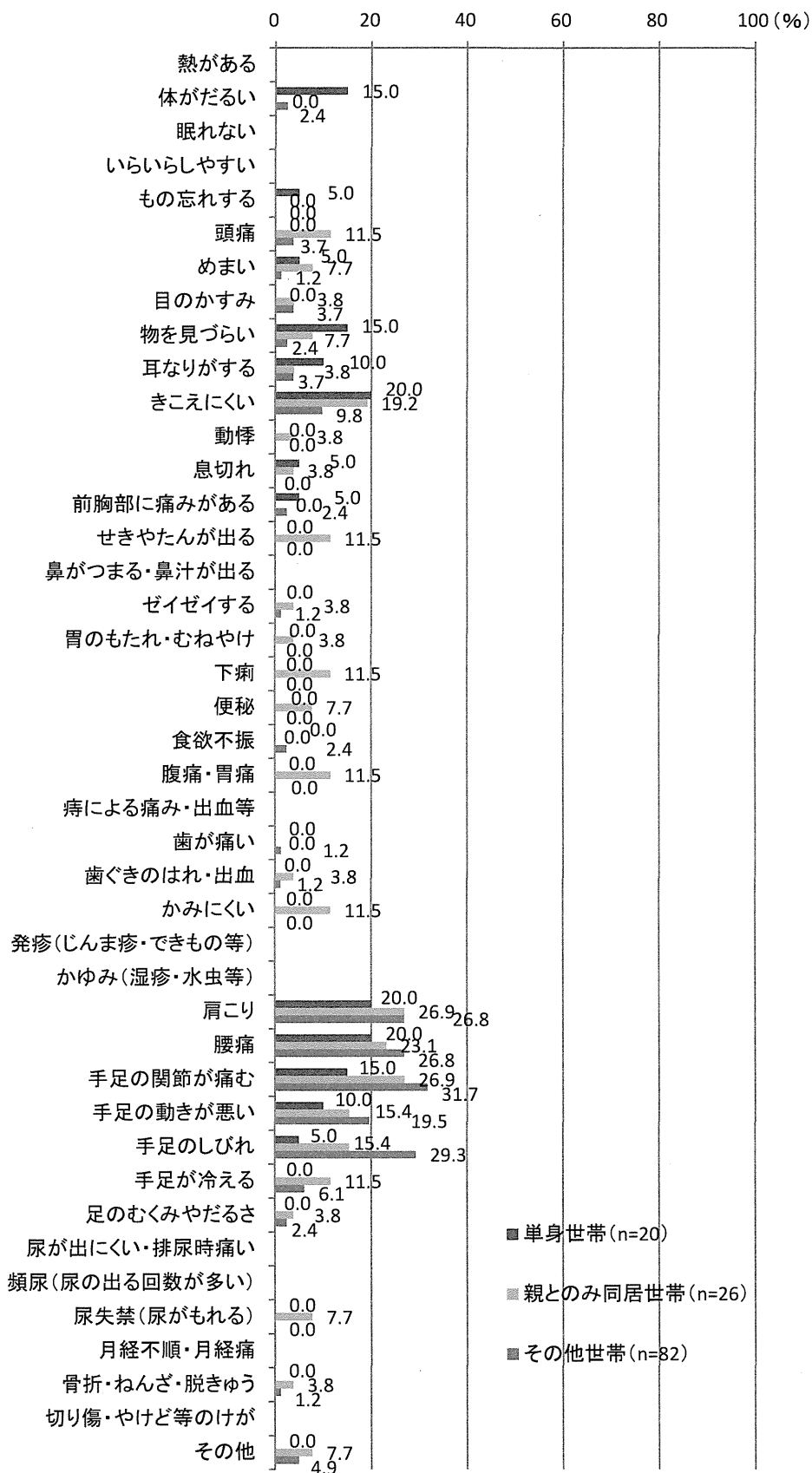


P<0.01 **

図表 62 本人がサリドマイド被害との関係を心配している症状；性別（複数回答）



図表 63 本人がサリドマイド被害との関係を心配している症状；世帯類型別（複数回答）



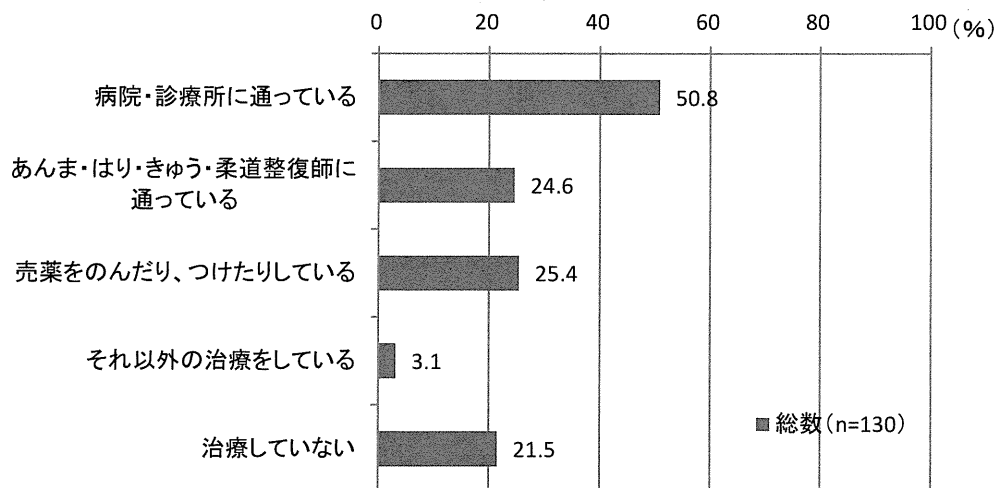
P<0.05*

④本人が最も気になる症状の治療状況

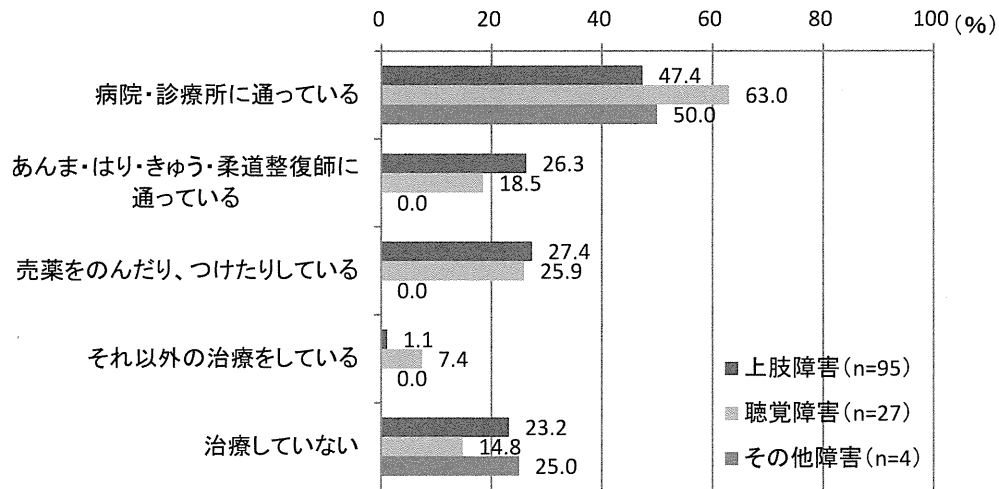
(4) 最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか (〇はいくつでも)。

- 本人が最も気になる症状に対してなんらかの治療をしているかについて、全体で見ると、「病院・診療所に通っている」が50.8%と最も多く、次いで「売薬をのんだり、つけたりしている」が25.4%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が24.6%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「病院・診療所に通っている」が47.4%と最も多く、次いで「売薬をのんだり、つけたりしている」が27.4%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が26.3%である。聴覚障害は「病院・診療所に通っている」が63.0%と最も多く、次いで「売薬をのんだり、つけたりしている」が25.9%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が18.5%である。
- 性別で見ると、男性は「病院・診療所に通っている」が46.8%と最も多く、次いで「売薬をのんだり、つけたりしている」が22.6%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が21.0%である。女性は「病院・診療所に通っている」が53.0%と最も多く、次いで「売薬をのんだり、つけたりしている」が28.8%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が27.3%で、男性よりやや高い割合になっている。「治療していない」を見ると、男性の17.7%に対して女性は25.8%となっており、これも男性より高い割合になっている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「病院・診療所に通っている」が50.0%と最も多く、次いで「治療していない」が30.0%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が20.0%である。親とのみ同居世帯は、「病院・診療所に通っている」が61.5%と最も多く、次いで「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が23.1%、「売薬をのんだり、つけたりしている」が19.2%である。その他世帯は、「病院・診療所に通っている」が47.6%と最も多く、次いで「売薬をのんだり、つけたりしている」が29.3%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が28%である。

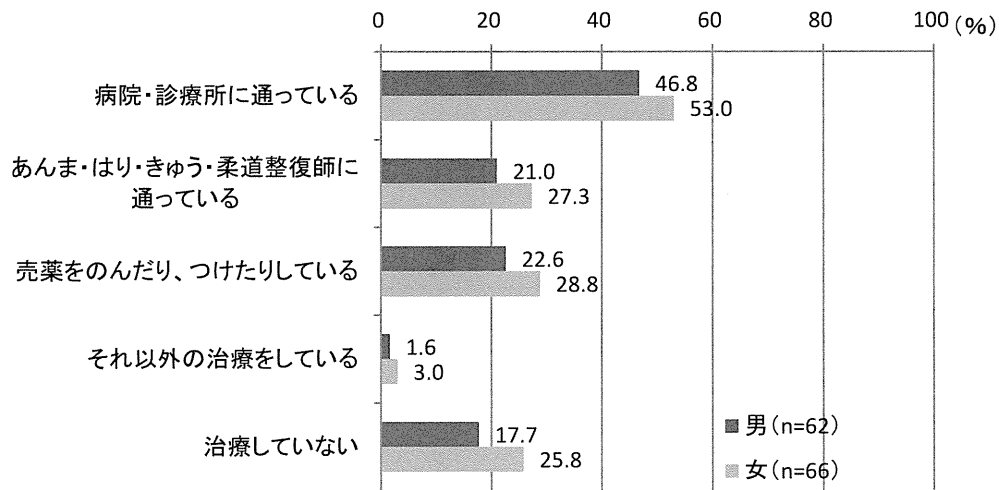
図表 64 本人が最も気になる症状の治療状況；全体（複数回答）



図表 65 本人が最も気になる症状の治療状況；障害種別（複数回答）



図表 66 本人が最も気になる症状の治療状況；性別（複数回答）



図表 67 本人が最も気になる症状の治療状況；世帯類型別（複数回答）

